

## ⑤ 野生鳥獣被害の防止 ～ 営農意欲を守る ～

市町村の鳥獣被害防止計画に基づき、侵入防止柵の設置を推進し、地域ぐるみで行う被害防止対策を支援する。

## ◆ 野生鳥獣被害による営農意欲の減退を防ぐ野生鳥獣被害防止対策

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 9 市町村において実施・支援 ※ 前橋市、渋川市、富岡市、安中市、甘楽町、東吾妻町、沼田市、みなかみ町、桐生市 ----- 40km の設置・設置支援		
	(今年度の取組内容) ・早期執行に向けた手続き等を支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
野生被害防止対策を支援した市町村数 [市町村]						
目 標	—	—	12	13	14	17
実 績	(17)	—	14	17	<u>14</u>	
侵入防止柵の設置延長 (km/年)						
目 標	—	—	40.0	40.0	40.0	40.0
実 績	—	—	50.5	59.3	<u>56.0</u>	

※ 基準年の ( ) 内は、過去 4 年間 (H25～27) の実績であり、今後 4 年間で同数の実施・支援を目指す。

※ 数値は単年度取組数。また、数値の下線    は、見込み。

## 「里」の保全整備

## 地域資源を『引き継ぐ』

- ため池の改修等による防災対策や、災害発生時等における被害の減災対策に取り組み、農業経営の安定と国土保全を図ります。
- 農村地域における生活環境の維持・向上を図り、暮らしたい農村づくりに取り組みます。

## 地域資源を『活かす』

- 多彩な地域資源の積極的な活用への取り組みや多様な分野との連携による都市農村交流を推進し、活力ある農村づくりを目指します。

① 災害に強い農村づくり ～ 自然災害への備え ～ **重点取組**

農業用水利施設の防災対策や災害発生時等における被害の減災対策に取り組み、農業経営の安定と国土保全を図る。

## ◆ 災害に備えた補強対策による防災減災の推進

## ・ため池の耐震性能等の把握

	計 画	実 績	評価
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 耐震性能検証               <ul style="list-style-type: none"> <li>--- 2地区（18か所）を実施・支援</li> <li>※ 太田4(16か所)、みどり1(2か所)</li> </ul> </li> <li>➤ 豪雨に対する安全性検証               <ul style="list-style-type: none"> <li>----- 3地区（13か所）を支援</li> <li>※ 前橋第6(10か所)、鎌田温水ため池、みどり1(2か所)</li> </ul> </li> </ul>		
	(今年度の取組内容) ・ため池の防災・減災対策の可否を判断する、ため池耐震性及び豪雨に係る検証地区について、事業実施主体である市町村に対して、円滑かつ適正な検証への支援を行う。		

## 【耐震性能を確認するため池】

※県営：鈴峰貯水池、桃泉貯水池（\*再検証）

※団体営：[太田] 北長岡溜池1、北金井溜池（上池）、北金井溜池5、大鷲ため池、長手第1溜池（上池）、長手第2溜池（下池）、萩原溜池、今泉口溜池、天沼、京之入上溜、滝之入下溜、福田池、滝之入池、滝之入上溜（新沼）、湯之入上溜、谷ツ池、  
[みどり] 坊谷戸沼、山畑ため池

## 【豪雨に対する安全性を確認するため池】

※団体営：[前橋] 江木新沼、堤沼、乾谷地沼、荒子沼、今井沼、千貫沼、菅広沼、山田貯水池、庚塚沼、伊勢の森下沼、  
[片品] 鎌田温水ため池、[みどり] 坊谷戸沼、山畑ため池

## ◆ 地域との連携による防災減災の取り組み推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ ため池のハザードマップ作成 ----- 2 地区（18ヶ所）を支援 ※ 太田 4(16か所)、みどり 1(2か所)		
	(今年度の取組内容) ・ため池の決壊による下流の住宅等への被害が激甚化する中、県民の迅速かつ円滑な避難や災害に対する意識の醸成が図られるよう、市町村が策定するため池ハザードマップの作成の支援を行う。		

## 【ハザードマップを作成するため池】

※団体営：[太田] 北長岡溜池 1、北金井溜池（上池）、北金井溜池 5、大鷲ため池、長手第 1 溜池（上池）、長手第 2 溜池（下池）、萩原溜池、今泉口溜池、天沼、京之入上溜、滝之入下溜、福田池、滝之入池、滝之入上溜（新沼）、湯之入上溜、谷ツ池、坊谷戸沼、山畑ため池北長岡溜池 1、北金井溜池（上池）、北金井溜池 5、大鷲ため池、長手第 1 溜池（上池）、長手第 2 溜池（下池）、萩原溜池、今泉口溜池、天沼、京之入上溜、滝之入下溜、福田池、滝之入池、滝之入上溜（新沼）、湯之入上溜、谷ツ池、[みどり] 坊谷戸沼、山畑ため池

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
耐震性能を確認したため池数 [ヶ所]						
目 標	—	—	70	84	95	99
実 績	45	49	70	84	94	
ハザードマップの作成を支援したため池数 [ヶ所]						
目 標	—	—	51	67	87	91
実 績	29	29	51	67	90	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線    は、見込み。

## ② ため池の保全 ～ 地域による管理体制の再構築 ～

農業用水の安定確保と地域の防災減災を図るため、早期に改修が必要なため池を計画的に改修する。

## ◆ 農業用水の安定確保とため池の管理体制整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 早期に改修が必要なため池の保全整備 ----- 12 地区を実施 ※ 【ため池整備】池田、大谷・牛秣、大谷の堤 ※ 【ため池緊急防災減災対策】中野貯水池、穂積ため池、三峰第 1、奥沢下沼、宇楚井、鎌田温水ため池、権現上、宮原貯水池、二又の池		
	(今年度の取組内容) ・ため池の防災・減災対策の加速化により農村地域の防災力の向上が図られるよう、国の「防災・減災、国土強靱化に関する 3 年緊急対策」を活用し、ため池耐震化対策（池田、大谷・牛秣）では、地元関係者等と協議、調整を図り、押え盛土等の耐震化対策工事を実施する。 ・(県単)ため池緊急防災減災対策については、地元関係者等協議、調整を図り、耐震・豪雨及び老朽化対策工事を 3 か所で実施する。 ・耐震・豪雨等の対策を実施する 7 か所は、来年度以降の対策工事に向けて、実施設計等を実施する。		

## 【耐震化等の対策を実施するため池】

※池田、大谷池、牛秣貯水池、中野貯水池、穂積ため池、三峰第 1 ため池

## 【実施計画等を策定するため池】

※大谷の堤、奥沢下沼、宇楚井、鎌田温水ため池、権現上、宮原貯水池、二又の池

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
老朽ため池等の改修済数（耐震対策工事を含む）						
目 標	—	—	3	1	2	8
実 績	—	—	3	1	2	

※ 数値は、単年度取組数。

## ③ 農村地域の防災減災対策 ～ 農地・地域を守る ～

農地を含めた農村地域の生活環境の維持・向上を図るため、農村地域の湛水被害の未然防止や地すべり防止区域における地すべり対策工事と機能確保のための維持管理等を行う。

また、石綿セメント管が使用されている農業用管水路の撤去等を実施する。

## ◆ 農地への湛水被害の未然防止

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業用排水路の整備による湛水被害対策 ----- 1地区を実施 ※ 大久保		
	(今年度の取組内容) ・ 早期の湛水被害の解消に向け、地元及び関係機関と協議、調整を図り、調整池に係る用地買収を行うとともに、調整池及び排水路整備を実施する。		

## ◆ 地すべり防止区域における農地・国土保全

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 協働による地すべり防止区域の監視 ----- 9地区で実施 ※ 白井、中郷、戸野、中野、高立、栃久保、河振、八木沢、わらび峠		
	▶ 機能保全計画（個別施設計画）の策定 ----- 4地区で実施 ※ 白井、中野、八木沢、わらび峠		
(今年度の取組内容) ・ 西部並びに吾妻管内の地すべり防止区域指定地区について、地域住民及び市町村との協働による施設点検を実施し、監視体制を確認の上で適正な管理を実施する。 ・ 白井、中野、八木沢、及びわらび峠地区については、機能保全計画（個別施設計画）を策定する。			

## ◆ 石綿を使用した農業用管水路の撤去

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業用管水路の改修 ----- 4地区を実施 ※ 前橋北部、榛名東部、赤城原、北ろく赤谷		

**（今年度の取組内容）**

- ・実施予定箇所について、関係機関との協議及び計画どおり整備を実施し、事業進捗を図る。
- ・新規採択の北ろく赤谷地区では、来年度以降の実施に向けて実施設計を取りまとめる。

**数値目標**

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>地すべり防止施設の機能保全計画の策定地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	—	2	4	6
実 績	—	—	—	2	<u>5</u>	
<b>石綿セメント管の撤去延長 [km]</b>						
目 標	—	—	9.7	17.3	25.1	30.3
実 績	5.5	6.1	6.3	8.0	<u>9.6</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線   は、見込み。

#### ④ 農村集落環境の保全 ～ 農村地域の水質環境と生活水準の維持・向上 ～

農業集落排水の施設において、整備後 20 年が経過した施設が増加してきており、老朽化や機能低下が見受けられる状況となっていることから、適時・適切な修繕と更新により施設の長寿命化等を図り、ライフサイクルコストの低減を進める。

#### ◆ 施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 施設の劣化状況等を調べる機能診断調査 ----- 1 施設を支援 ※ 広馬場 ▶ 効率的な機能保全対策を定めた最適整備構想の策定 ----- 2 町村を支援 ※ 甘楽町、榛東村		
	<b>（今年度の取組内容）</b> ・農業集落排水施設の機能診断調査を行い機能低下の進行状況等を的確に把握し、診断結果に応じた施設の補修・補強等を計画的に実施するために必要な、最適整備構想の早期策定へ向けた支援を行う。 なお、榛東村の長岡地区は、平成 28 年度に策定済みである。		

**数値目標**

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
<b>農業集落排水施設の最適整備構想策定市町村数 [市町村]</b>						
目 標	—	—	10	15	20	21
実 績	5	6	11	15	20	

※ 数値は、累計値。

⑤ 中山間地域の振興 ～ 豊かなむらづくり ～ **重点取組**

高齢化や人口減少が進む中山間地域において、集落や多様な組織と連携・協働した体制づくりを支援するとともに、新たな人材等が農業生産を行えるよう整備構想を策定する。

## ◆ 地域全体でコミュニティ機能を維持するための集落内外との連携強化

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 集落ぐるみの活動体制づくり支援 ----- 18回のマイスター派遣		
	(今年度の取組内容) ・4月に群馬県農業会議と委託契約を締結し、計画的な派遣となるよう進捗管理する。		

## ◆ 地域特性を活かした生産基盤整備の推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 中山間元気創生基盤整備構想の策定 ----- 1地区を実施		
	(今年度の取組内容) ・県内1地区において、地域特性を活かした整備構想の策定を行う。		

## ◆ 多様な組織との協働による地域づくりと移住等の受入れ促進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ やま・さと応援隊による活動調査 ----- 4件を実施 ▶ 棚田保全活動事業による住民協定 ----- 1件を締結		
	(今年度の取組内容) ・公募により活動調査実施大学を選定して契約し、農山村の活性化に向けた活動を実施してもらう。 ・地域住民団体による棚田の保全活動を支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
棚田保全活動事業による住民協定締結数 [協定]						
目 標	—	—	6	8	8	8
実 績	2	5	6	7	<u>7</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線    は、見込み。

## ⑥ グリーン・ツーリズムの推進 ～ 交流による地域の活性化 ～

多彩な地域資源と地域の特性を活かした取り組みを推進するとともに、観光周遊ルートと組み合わせ合わせたグリーン・ツーリズムを推進するなど、都市と農村の交流の促進による地域活性化を図る。

## ◆ 地域ぐるみの推進体制づくりと事業展開プログラムの策定

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ グリーン・ツーリズム推進のためのプログラム策定等支援 ----- 5団体を支援		
	(今年度の取組内容) ・5団体の地域連携システム整備事業計画を認定し、地域ぐるみのグリーン・ツーリズムを推進する。		

## ◆ 誘客のための戦略的広報宣伝活動の展開

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 群馬の魅力発信強化 ----- 1件を実施		
	(今年度の取組内容) ・HP「ぐんまのグリーン・ツーリズム」をリニューアルし、群馬のグリーン・ツーリズムの魅力を発信する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
公設交流体験施設利用者数 [人]						
目 標	—	—	335,000	341,000	347,000	353,000
実 績	327,737	332,848	339,692	368,606	372,829	

※ 数値は、単年度取組数。

## （２） 協 働

### 『地域の活力を高める』

- 農業者を中心とした地域のコミュニティ機能の発揮を促進し、農村の振興と多面的機能の維持・発揮に取り組むとともに、担い手の負担軽減と農地集積等の構造改革を後押しします。
- 農業農村の有する役割や良好な多面的機能の維持・発揮について、県民の理解を促進し、農村地域の維持発展に努めます。

#### ① 農地維持・資源向上 ～ 地域コミュニティ機能の発揮 ～ **重点取組**

農業者を中心とした地域のコミュニティ機能の発揮を促進し、農村の振興と多面的機能の維持・発揮に取り組むとともに、担い手の負担軽減と農地集積等の構造改革を後押しする。

#### ◆ 地域ぐるみの活動促進による地域コミュニティ機能の発揮

##### ・地域資源の保全活動への支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 地域資源の維持・保全が図られた農地 ----- 20,000 ha を支援 ※ 中部地域 (6,023 ha)、西部地域 (2,709ha)、 吾妻地域 (2,535ha)、利根沼田地域 (3,473ha)、東部地域 (5,277 ha)		
	(今年度の取組内容) ・関係市町村及び群馬県水土里保全協議会と連携の上、制度改正内容の周知を含む事務研修会等を開催し、活動組織の円滑かつ持続的な取り組みを支援するとともに、「推進部会」の基本方針により取組面積の規模拡大を図る。		

##### ・地域資源の長寿命化に向けた取り組みへの支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 活動組織が行う水路や農道等の長寿命化を支援		
	(今年度の取組内容) ・関係市町村及び群馬県水土里保全協議会と連携の上、技術研修会等を開催し、活動組織の円滑かつ適切な長寿命化に向けた取り組みを支援する。		

#### ◆ 地域特性を活かした中山間地域の活動支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 農業生産活動の継続に向けた中山間地域等直接支払制度の活用 ----- 1,647 ha を支援		
	(今年度の取組内容) ・農業事務所や市町村担当者を参集した会議など様々な機会を通じて、事業制度の理解促進、制度の効率的、積極的な活用を支援する。		



## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
<b>多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落地数 [重点]</b>						
目 標	—	—	376	486(408)	561(440)	633(478)
実 績	305	435	486	561	633	
<b>農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 [ha]</b>						
目 標	—	—	15,402	16,426	18,202	20,000
実 績	12,945	13,963	15,585	16,828	17,747	
<b>中山間地域等直接支払交付面積 [ha]</b>						
目 標	—	—	1,378	1,430	1,500	1,647
実 績	1,587	1,372	1,381	1,427	<u>1,424</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線    は、見込み。

## ② 地域構想づくり支援 ～ 地域活性化のための基盤づくり ～

地域で取り組む農地利用集積と、担い手との連携強化への取り組みを推進するとともに、地域による地域資源保全管理構想の話し合いの場等を活用し、地域が描く将来像の検討にモデル的に取り組む。

## ◆ 地域の実情に即した将来像の検討

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ モデル地区の設定及び構想づくり支援 ----- 2 地区を支援		
	(今年度の取組内容) ・ 中部、利根沼田地域においてモデル地区を設定する。 ・ 関係市町村と連携し、各モデル地区で取り組む「地域資源保全管理構想」の策定を支援する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
<b>地域構想づくり支援実施モデル地区数 [地区]</b>						
目 標	—	—	1	→	→	8(5)
実 績	1	1	1	→	6	

## ③ 農業農村への理解促進 ～ 円滑な取り組みへの協力 ～

農業農村では、食料の安定供給や多面的機能の維持・発揮など、広く県民がこれらの恩恵を享受していることから、農業農村についての理解促進を図る。

## ◆ 農業農村及び農業農村整備事業への県民の理解促進

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 県民に対する農業農村整備事業等の周知 ----- 広報委員会による広報活動		
	(今年度の取組内容) ・ 県内の小学生に対して、農業農村整備事業の理解を促すため、「どろんっ子新聞」を作成して配布する。 ・ 農業土木を学ぶ県内高校生と県内外の大学生を主体に、群馬県が行う農業農村整備事業の実施事例を対象とした「学生向け見学会」を開催し、取組への理解と役割を紹介する。 ・ 県内の農業農村整備事業に関する情報をホームページに公開し、広く情報発信する。		

## 数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
県民への理解促進に向けた広報活動回数 [回/年]						
目 標	—	—	40	40	40	40
実 績	(40)	—	50	40	<u>53</u>	

※ 過去5年間（H23～27）の平均回数を目標に実施・支援する。また、数値は、単年度取組数。

数値の下線    は、見込み。